

普及やいま

第139号

発行

八重山農林水産振興センター
農業改良普及課

沖縄県石垣市真栄里438-1

TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

TEL 0980-87-2354(代)

伊盛牧場天皇杯受賞

第65回全国農業コンクール(毎日新聞社主催)で、沖縄県初となるグランプリを獲得した、石垣市で酪農と生乳を使ったジェラート等の加工販売を行っている農業生産法人(有)伊盛牧場代表取締役の伊盛米俊さんが、第55回農林水産祭において、見事天皇杯を受賞しました。11月23日に開催される式典で表彰されることになっています。



大阪市中央公会堂で発表する
伊盛米俊さん(6月30日)

賞状をもらった時には、酪農を始めた当初に牛が暑さでバタバタ死んでいった事を思い出し、涙が止まらなかった。多くの人の協力があったので受賞です。



マンゴー 10~11月の栽培管理と害虫防除

◎ 栽培管理

かん水

収穫後から10月にかけて2~3節の新梢が発生します。この時期に降水量が少ないと発芽が遅れ、結果母枝の充実が不十分になり開花に影響します。天候をみながら適度なかん水を行いましょう。



誘引

10月：骨格作りの誘引で、太い枝を中心に、折れないよう数回に分けて行います。この時期は基本的に無剪定で、枝の配置を変えても混む場合は出蕾を確認した後に間引き剪定を行います。

11月：結果母枝の誘引の時期です。花吊り・玉吊りがやりやすい位置になるように高さを調節しましょう(写真)。

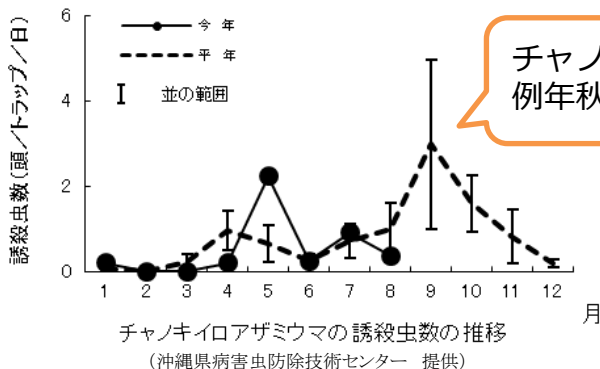


(沖縄県北部農業改良普及課 提供)

◎ チャノキイロアザミウマの防除

収穫後の剪定が終わり、翌年の出蕾を促すためには新梢を充実させることが重要となりますが、秋期はアザミウマ等の害虫の発生が増える時期でもあります。

**「早期発見」・「早期防除」に努め、
新芽を守って充実した枝づくりを目指しましょう！**



チャノキイロアザミウマは
例年秋に増加するので注意必要！

新葉裏や花に発生が多い。
ルーペで観察。



成虫
(0.9mm)

新葉上の幼虫



被害葉

- 剪定残さや被害枝葉は施設外で処分。
- 雑草は発生源になり得るので、施設内外の除草や敷草を行う。
- 圃場を観察し、ルーペなどを用いて早期発見・早期防除。
- 薬剤は、マンゴーまたは果樹類に登録のある農薬を用い、かけむらのないよう異なる系統をローテーション散布する。

もう一度確認しよう！認定農業者の「有効期間」

～認定農業者制度、「更新」していますか？～

「認定農業者制度」は、農業者自らの創意工夫により経営改善を進めようとする意欲的な経営改善計画を市町村が認定し、これらの認定を受けた農業者に対して重点的に支援措置を講じようとする制度です。認定の有効期間は**5年間**となっており、再び認定農業者となるためには、新たに経営改善計画書を市町村に提出し、認定を受ける必要があります。

認定農業者制度の概要

☆経営改善計画の認定要件

- ・農業経営を営む者であること（法人含む）
- ・現状と5年後を目標とした「農業経営改善計画」を作成すること
→農業所得350万円（与那国町は330万円）、年間労働時間2,000時間の目標を達成出来る計画であること
- ・年齢制限無し
- ・専業・兼業は問わない

☆認定農業者としてのメリット

- ・農業制度資金の優遇
→農業近代化資金：貸付額が事業費の100%（認定農業者以外は80%）
スーパーL資金：貸付対象者は認定農業者限定、「人・農地プラン」の位置づけで利子助成
- ・各種事業の対象要件
→米農家に対する経営所得安定対策（収入減少の際に補填金が支払われる）
畜産クラスター関連事業（機械のリース整備に対し、1/2以内補助）
- ・農業者年金の国庫補助
- ・農地の優先的斡旋

※必ずしも各種支援が全て円滑に受けられることを保証するものではありません。

更新手続きを行っていない認定農業者の皆様へ

行政による各種支援事業は、担い手（＝認定農業者）の育成が目的のひとつとなっており、認定農業者数は地域の農業振興における担い手育成の効果を示す数値＝産地力となっています。そのため、**補助事業で機械や施設等を導入された農業者やスーパーL資金等の農業制度資金を借り入れている農業者等**については、確実に認定を更新する必要があります。



今年度で有効期限が切れる認定農業者の皆様、過去に認定を受けて有効期間が切れている農業者の皆様、更新手続きを行い継続的に経営改善に取り組みましょう！

問い合わせ先：

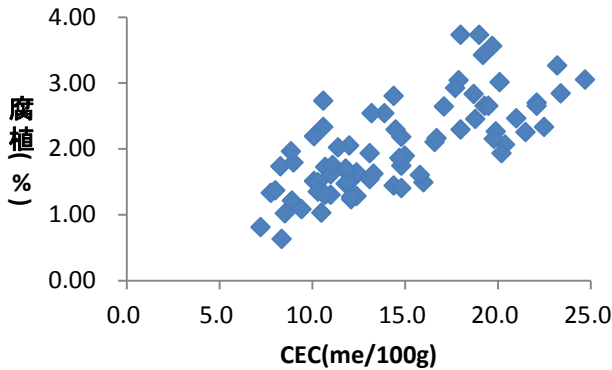
八重山管内の各市町村 農政関係担当課へ
石垣市農政経済課 : 0980-82-1307
竹富町農林水産課 : 0980-82-6191
与那国町産業振興課 : 0980-87-3582



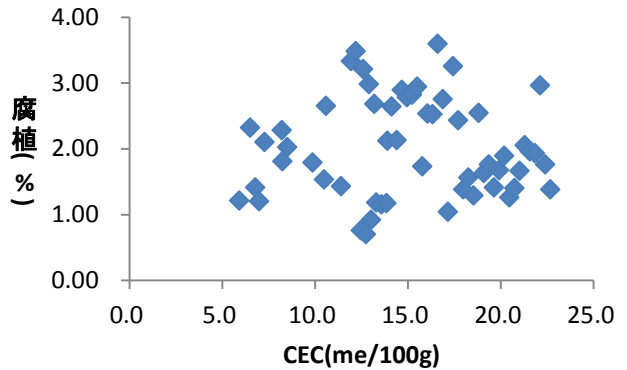
平成28年度土壌検診週間における 土壌分析結果について



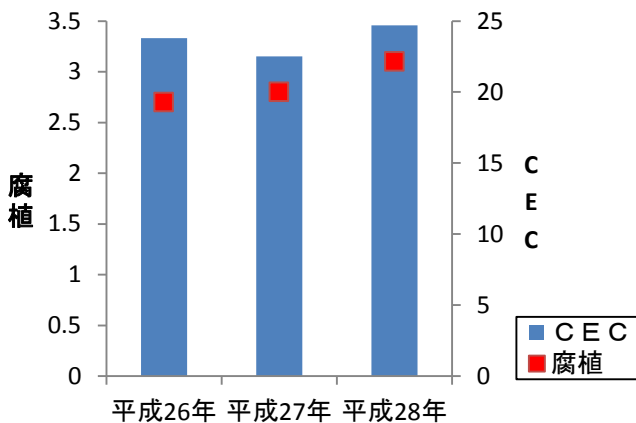
本年度の土壌検診週間における分析点数は、八重山地区で計316点(石垣市237点、竹富町73点、与那国町6点)作物別では、さとうきび107点、牧草5点、野菜115点、果樹73点、その他16点でした。本年度は八重山地域の施設野菜とマンゴーについて、腐植とCECの分布を示しました。また、優良事例として、土づくりに意欲的に取り組む農家の同一圃場における過去3年間(平成26~28年)の腐植とCECの推移を示しました。



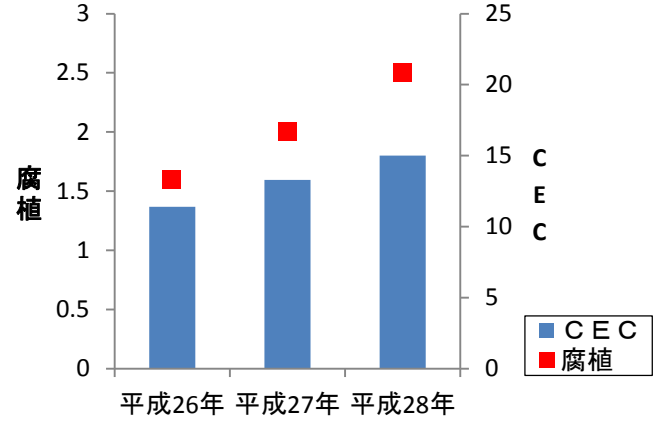
平成28年度施設野菜における腐植とCECの分布 (N=80)



平成28年度マンゴーにおける腐植とCECの分布 (N=56)



施設野菜優良事例 (過去3年間の腐植とCECの推移)



マンゴー優良事例 (過去3年間の腐植とCECの推移)

農家さんの土づくり

基肥、追肥として、籾殻燻炭、菜種油かす、米ぬか、カニ殻を配合した自家製ぼかし肥を800kg/10a施用している。
堆肥は3t/10a施用している。

土づくりをして感じたこと

色、形がいいと感じる。バイヤーから、野菜がおいしいと褒められた。

農家さんの土づくり

魚粕、菜種油かす、米ぬかを配合した自家製ぼかし肥を500kg/10a施用している。堆肥は2年に1回1.5t/10a施用している。
毎年、敷草として、キビの葉殻を施用している。

土づくりをして感じたこと

一度、土づくりを止めてから、樹勢が低下してきた。3年前から、土づくりを再開し、樹勢が回復してきた。

用語説明・・・①腐植(土壌中の有機物が分解したもの) ②CEC(土壌粒子が肥料をつかむ力。高いほど肥料の流亡が少ない)
※どちらも土壌の有機物含量に深く関与し、高いほど地力が高いことを示す(CECは土壌の種類によっても大きく異なる)。